

明日が第1学期終業式です。  
 今日も、フールに元気に入った学年がありました。夏休み中も早寝早起き朝ごはんを継続し、規則正しい健康な生活を送らせてください。 よろしくお願いします。



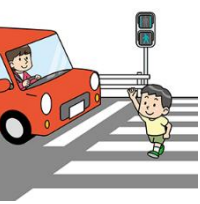
家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に

「当たり前」と受け止めず、ちょっと立ち止まって・・・

明日で1学期が終了します。1学期71日間の子どもの様子を見ていて「おもしろくないことがあってイライラしても、キレたり乱暴なことばを発したりせず、我慢できるようになった」「授業中の発表の声が大きくなり、みんなに聞こえる声で話し、分かってもらえるようになった」「これまでは遅れて登校することが多かったが、朝自分で起きて、登校班と一緒に登校できるようになった」「授業中、学習活動に集中して取り組む時間がとても長くなった」「自分のマイナスの気持ちを、自分の言葉を使って少しずつ周りの人に伝えられるようになった」「漢字や数字の書き方が雑で読めないような字だったのが、丁寧に、しっかりと書けるようになった」等、一人一人の成長がはっきりと言葉にできる子がたくさんいます。

保護者の皆さんは、どうでしょうか？ この71日間を振り返って、わが子はどんな変化・成長をしたか、言葉や文章で表現できるでしょうか？

さて、今日、市から右のリーフレットが送付されてきました。本校では、通学路で横断歩道を渡り終えた時、朝なら班長さんが、下校時なら渡った本人が、止まってくれた



たドライバーさんに丁寧に挨拶をしたり、かわいくペコッと頭を下げたりしている場面をよく見かけます。「当たり前」の事と思っているとあまりその姿や素晴らしさに気づくことができません。

普段の生活でもそんなことはないでしょうか。「当たり前」のことと思っていると、何も考えずに見過ごしたり、通り過ぎたりしていることってたくさんあるように思います。例えば今、旬を迎えている桃、当たり前前に売っていますが、この桃がこんなにおいしく大きく育つまでにはどれほどの手がかかっているのかを考えると、私は感謝せずにはられません。寒い中でも暑い中でも、寸暇を惜しんで剪定したり、咲いた花一つ一つに受粉をしたり、摘果をしたり等々、1年間の毎日の手入れ・苦勞への感謝を持っておいしく食べたいと思っています。

子どもについてはどうでしょうか？ 大人の感覚だと

## 止まってくれて ありがとう 運動

おうだんほどう と くるま うんてんしゆ  
 横断歩道で止まってくれた車の運転手に  
 かんしゃ きも つた うんどう  
 感謝の気持ちを伝える運動です

**01 とまる**  
 おうだんほどう てまえ  
 横断歩道の手前でとまる

**02 みる**  
 みぎひだりみぎ  
 右左右をみる  
 くるま こ かくにん  
 車が来ないか確認

**03 まつ**  
 くるま き と  
 車が来たら、止まるまでまつ  
 くるま ほんたい くるま  
 止まった車の反対の車にも  
 ちゅうい  
 注意!

**04 ありがとう**  
 と くるま うんてんしゆ  
 止まった車の運転手に  
 かんしゃ きも  
 おじぎし、感謝の気持ちを伝える

て  
 手をあげて  
 わた  
 渡ろうね

かんしゃ きも ほんこうしや まち いしき う  
 感謝の気持ちで、歩行者を守る意識が生まれます

うんてん わ ひろ  
 やさしい運転の輪 を広げましょう

福島市・福島市交通対策協議会

「こんなことは当たり前の常識」と思っていることでも、子どもにとっては教えてもらっていないこと、知らなかったこと、よく理解できていないことかもしれません。

わが子は何ができて何ができないのか、どんなことが理解できていて理解が不十分なのはどんなことか、いろいろなことをしてもらえなのが「当たり前」のことと受け止めていて「ありがとう」が言えない子になってはいないか等、お子さんの様子をそんな視点で見てもみるのも、71日間の1学期のふり返りとして大切な視点の一つだと考えます。

交通ルールだから止まるのが「当たり前」という思考停止の状態では日々を過ごすのではなく、命を大切に尊重してくれて「ありがとう」という気持ちを持ってアイコンタクトをとることで、互いを大切に思いやる「人にやさしい社会」になっていくのではないのでしょうか。

